

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、22～26℃台を示し、やや高め～高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網——月夜間に出漁日数が少なかった。西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり5トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり0.9トンの水揚げで、前週の30%（前年を下回った）。北松南部地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり6トンの水揚げで、前週の1.2倍（前年を下回った）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では、1日1統当たり19kgの水揚げで、前週の1.3倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では1日当たり36kgの水揚げで、前週の6%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では、1日1統当たり102kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり293kgの水揚げで、前週の12%（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり10kgの水揚げで、前週の3.3倍（前年を上回った）。
- 定置網——対馬西岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり236kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マアジなどが1日1統当たり417kgの水揚げ。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（6/24～6/29の6日間）沖合イカ釣（冷凍船）は能登沖に出漁。赤イカは北太平洋で操業中。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐諸島周辺～兵庫沖～能登半島沖～山形沖で操業。鳥取県西部（沖合船）入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第3-17号 長崎県周辺海域の海面水温（7月号）」を発表しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>